

1000までの数

ねらい

1000までの数について、その構成や順序、大小などについての理解を深め、1つの数についてもいろいろな見方ができるようにします。

スタンダード

もくひょう時間

15分

ぺんきょうした 日

月

日

とく点

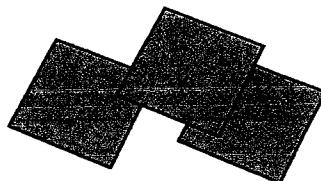
点

1

紙の数を数字で書きましょう。

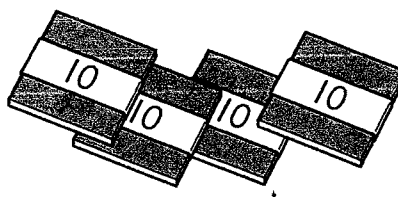
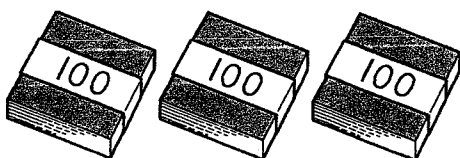
1つ3[6点]

①



()

②



()

2

つぎの数を数字で書きましょう。

1つ4[20点]

① 五百六十七

② 九百四

()

()

③ 800と 50と 3を あわせた 数

()

④ 100を 6こ, 10を 2こ, 1を 8こ あわせた 数

()

⑤ 百のくらいが 7, 十のくらいが 0, 一のくらいが 5の 数

()

3

□に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ3[6点]

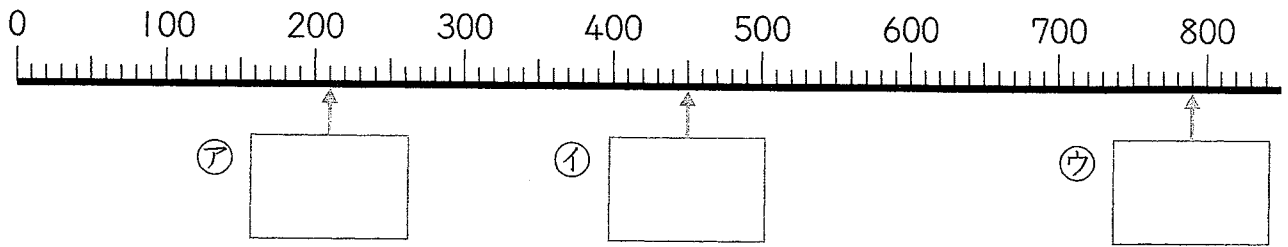
① 10を 48こ あつめた 数は □ です。

② 600は, 10を □ こ あつめた 数です。

4

□にあてはまる数を書きましょう。

1つ4 [12点]



5

つぎの数を書きましょう。

1つ4 [16点]

① 700より 1 大きい 数

()

② 309より 1 大きい 数

()

③ 1000より 200 小さい 数

()

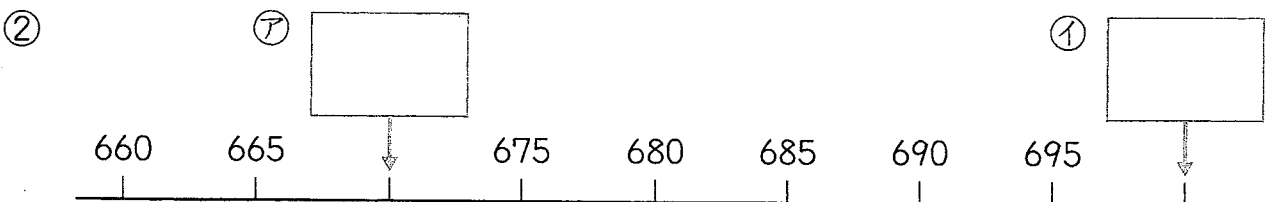
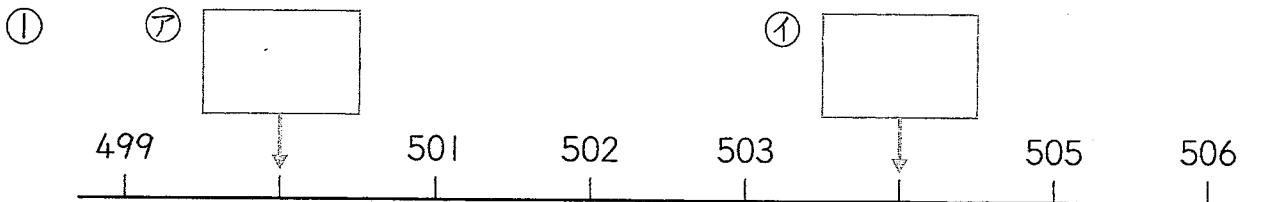
④ 1000より 10 小さい 数

()

6

□にあてはまる数を書きましょう。

1つ4 [16点]



7

□にあてはまる $>$, $<$ の記ごうを ^き書きましょう。1つ4 [24点]

① 170 □ 98

② 378 □ 405

③ 746 □ 763

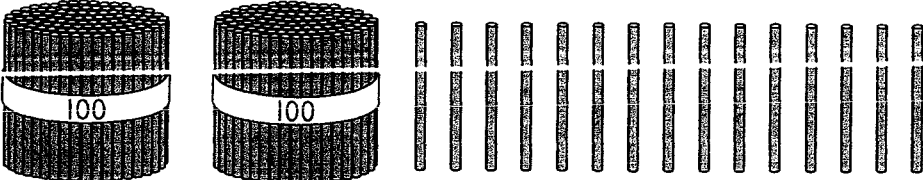
④ 843 □ 845

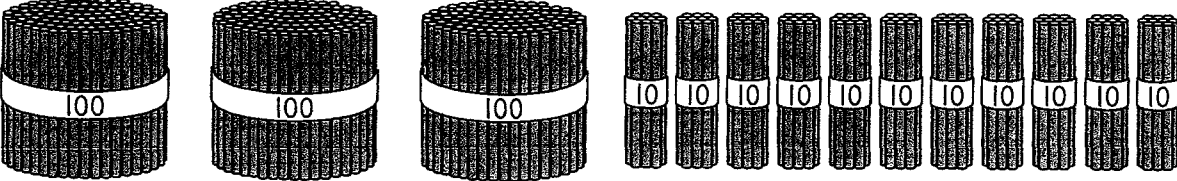
⑤ 601 □ 610

⑥ 969 □ 967

1 ぼうの 数を 数字で 書きましょう。

1つ4 [8点]

①  ()

②  ()

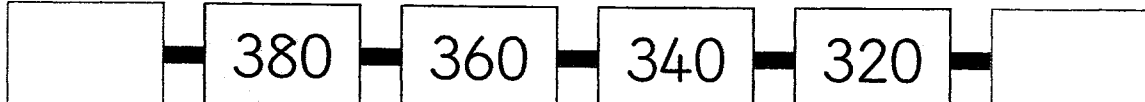
2 □に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ4 [16点]

- ① 300と □ と 6を あわせた 数は 356です。
- ② 100を □ こ, 10を 4こ, 1を 8こ あわせた 数は 648です。
- ③ 一のくらいが □, 十のくらいが □, 百のくらいが 5の 数は 580です。
- ④ □ は, 10を 82こ あつめた 数です。

3 □に あてはまる 数を 書きましょう。

□1つ4 [24点]

① 

② 

③ 

4 に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ4 [20点]

① 400より 300 大きい 数は

② 1000より 800 小さい 数は

③ 10を 50こ あつめた 数より 10 小さい 数は

④ 10を 99こ あつめた 数より 10 大きい 数は

⑤ 700より 40 小さい 数は, 10を こ あつめた 数

5 つぎの 数の には 数字が 1つ かくれて います。 に あてはまる $>$, $<$ の 記^きごうを 書きましょう。 1つ5 [20点]

① 57 569

② 8 2 894

③ 206 2 8

④ 962 53

6 キャラメルが 10こ 入って いる はこが 37はこ あります。 キャラメルは ぜんぶで 何^{なん}こ ありますか。 [6点]

()

7 クリップが 815こ あります。100こずつ はこに 入れると, 何はこ できて, 何こ あまりありますか。 [6点]

()

何十, 何百の 計算

ねらい

1000までの数の構成をもとにした計算や, 10や100を単位とした何十, 何百の計算のしかたを理解し, 計算できるようにします。

スタンダード

もくひょう時間

15 分

へんぎようした 日

月

とく点

日

点

けいさん

計算を しましょう。

1 つ 2 [20点]

① $500 + 30 + 4$

② $900 + 20 + 1$

③ $700 + 60$

④ $300 + 20$

⑤ $400 + 81$

⑥ $800 + 6$

⑦ $280 - 80$

⑧ $634 - 34$

⑨ $590 - 500$

⑩ $803 - 800$

2

計算を しましょう。

1 つ 2 [24点]

① $90 + 30$

② $80 + 50$

③ $60 + 90$

④ $40 + 70$

⑤ $90 + 80$

⑥ $80 + 60$

⑦ $120 - 80$

⑧ $110 - 50$

⑨ $140 - 90$

⑩ $170 - 80$

⑪ $140 - 70$

⑫ $120 - 40$

3 計算を しましょう。

1つ2 [16点]

① $400 + 200$

② $500 + 300$

③ $300 + 400$

④ $800 + 200$

⑤ $500 - 300$

⑥ $700 - 200$

⑦ $900 - 300$

⑧ $1000 - 600$

4

たい 体いくかんに 90人 います。20人 やって くと、ぜんぶで
なん 何人に なりますか。

しき 5, 答え 5 [10点]

(しき)

こた
答え

5

おり紙と メモチょうを 買ったたら, ぜんぶで 140円でした。

おり紙は 50円です。メモチょうは いくらですか。しき 5, 答え 5 [10点]

(しき)

答え

6

タオルは 300円, ごみばこは 700円です。しき 5, 答え 5 [20点]

① タオルと ごみばこを 買うと, あわせて いくらに なりますか。

(しき)

答え

② ごみばこは タオルより いくら 高いですか。

(しき)

答え

ハイレベル

もくひょう時間

20 分

へんきようした 日

月

とく点

日

点

同じ 答えの しきを 線で つなぎましょう。

1つ3 [12点]

$$70 + 60$$

$$360 - 60$$

$$130 - 80$$

$$600 + 200$$

$$700 - 400$$

$$837 - 37$$

$$100 + 30$$

$$450 - 400$$

2

□に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ3 [30点]

① $400 + \square = 470$

② $\square + 63 = 663$

③ $\square + 8 = 308$

④ $290 - \square = 90$

⑤ $\square - 58 = 700$

⑥ $505 - \square = 500$

⑦ $90 + \square = 150$

⑧ $120 - \square = 70$

⑨ $\square + 600 = 900$

⑩ $\square - 200 = 600$

3

□に あてはまる $>$, $<$, $=$ の 記ごうを 書きましょう。

1つ3 [18点]

① $650 \square 600 + 60$

② $980 \square 900 + 8$

③ $160 \square 70 + 90$

④ $501 \square 510 - 10$

⑤ $800 \square 808 - 8$

⑥ $60 \square 160 - 90$

- 4 826円の えんぴつけずりを、26円 やすく して もらいました。いくら はらえば よいですか。 しき 4, 答え 4 [8点]
(しき)

答え

- 5 ゆうたさんは なわとびで 150回 とぶそうです。今、70回 とびました。あと 何回 とべば よいですか。 しき 4, 答え 4 [8点]
(しき)

答え

- 6 赤い テープの 長さは 70cmです。青い テープの 長さは、赤い テープより 40cm 長いです。青い テープの 長さは 何cm ありますか。 しき 4, 答え 4 [8点]
(しき)

答え

- 7 マラソンに さんかした 人に ジュースを 1本ずつ くばります。今、400人に くばりました。ジュースは まだ 300本 あります。ジュースは はじめに 何本 ありましたか。 しき 4, 答え 4 [8点]
(しき)

答え

- 8 絵のぐは 600円、色えんぴつは 800円です。どちらが いくら やすいですか。 しき 4, 答え 4 [8点]
(しき)

答え

1000までの 数

むくじょう第1回

へんきゅうした 日

とく点

20

分

月

日

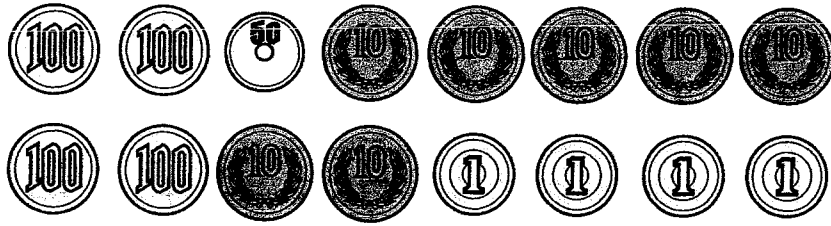
点

1

なん 何円 ありますか。

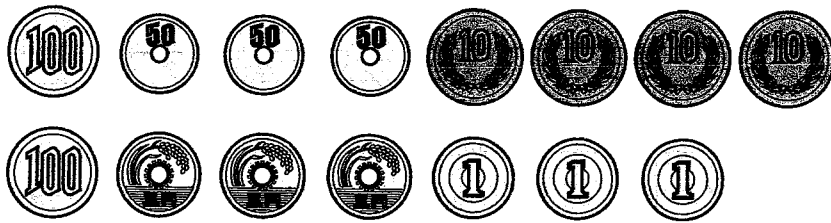
1つ4 [8点]

①



()

②



()

2

□に あてはまる 数を かき 書きましょう。

1つ5 [20点]

① 100を 7こと, 10を 13こ あつめた 数は

② 10を 43こと, 1を 26こ あつめた 数は

③ 608より 32 大きい 数は

④ 915より 35 小さい 数は

3

つぎの 数の 大きさを くらべて, □に 数を 書きましょう。

1つ5 [10点]

① (479, 394, 485)

 < <

② (909, 919, 911, 901)

 < < <

4 下は どれも 3けたの 数です。□ に あてはまる ^{すうじ}数字を ぜんぶ 書きましょう。

① $5\square 6 < 544$

② $694 < \square 97$

5 □ に あてはまる 数を 書きましょう。

□ 1つ4 [24点]

① $815 \text{ --- } \square \text{ --- } 775 \text{ --- } 755 \text{ --- } 735 \text{ --- } \square$

② $318 \text{ --- } \square \text{ --- } \square \text{ --- } 288 \text{ --- } 278 \text{ --- } 268$

③ $527 \text{ --- } 542 \text{ --- } 557 \text{ --- } 572 \text{ --- } \square \text{ --- } \square$

6 下の カードの 中から 3まい えらんで ならべ、3けたの 数を ^{つく}作ります。つぎの 数を ^{こた}答えましょう。

1つ6 [30点]

0

2

4

7

6

① いちばん 大きい 数

()

② いちばん 小さい 数

()

③ 百のくらいが 4の 数の 中で、いちばん 大きい 数

()

④ 十のくらいが 2で、一のくらいが 7の 数の 中で、いちばん 小さい 数

()

⑤ 300に いちばん ^{ちか}近い 数

()

トッパレベル 20

分

月

日

点

1 に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ4 [16点]

① 100を こ, 10を 15こ, 1を 8こ あわせた 数は 258です。

② 100を 5こ, 10を こ, 1を 4こ あわせた 数は 794です。

③ 10を こと, 1を 13こ あわせた 数は 473です。

④ 10を 51こ, 1を こ あわせた 数は 547です。

2 つぎの 数の 大きさを くらべて, に 数を 書きましょう。

1つ5 [10点]

① (352, 293, 458, 371, 358)

< < < <

② (732, 713, 730, 703, 723)

> > > >

3 に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ4 [24点]

① 913 — — 907 — 904 — 901 —

② 665 — 676 — 687 — 698 — —

③ — 447 — 497 — 547 — 597 —

- 4 下の カードの 中から 3まい えらんで ならべ、3けたの 数を 作ります。 [35点]

- ① いちばん 小さい 数は いくつですか。 ()
- ② 2ばんめに 大きい 数は いくつですか。 ()
- ③ 百のくらいが 8の 数の 中で、2ばんめに 大きい 数は いくつですか。 ()
- ④ 百のくらいが 4の 数の 中で、2ばんめに 小さい 数は いくつですか。 ()
- ⑤ 十のくらいが 9の 数の 中で、いちばん 大きい 数は いくつですか。 ()
- ⑥ 500に いちばん 近い 数は いくつですか。 ()
- ⑦ 851より 大きく、880より 小さい 数は 何こ できますか。 ()

- 5 えみさんの ちょ金ばこには 10円玉と 5円玉が あわせて 36こ 入って います。そのうち、5円玉は 7こです。ちょ金ばこには いくら 入って いますか。 [7点]
- ()

- 6 バザーを するので、1000円ぶんの おつりを よういします。 1円玉を 30こ、10円玉を 22こ、100円玉を 5こ、あとは 50円玉に します。50円玉は 何こ よういすれば よいですか。 [8点]
- ()

何十, 何百の 計算

レベル

今日の日付

今日の日付

とく

20

分

月

日

点

1

計算を しましょう。

1つ3 [24点]

① $500 + 200 + 40$

② $870 - 800 + 50$

③ $950 - 50 - 600$

④ $406 - 6 + 300$

⑤ $80 + 70 - 90$

⑥ $170 - 90 + 60$

⑦ $200 + 600 - 400$

⑧ $1000 - 700 + 500$

2

2つの 式の 答えが 同じ 数に なるように, □に あてはまる 数を 書きましょう。

1つ3 [12点]

① $390 - 90 = 800 - \square$

② $200 + 400 = \square - 8$

③ $50 + 90 = 70 + \square$

④ $900 - 200 = \square + 500$

3

計算の しかたを 考えて, □に 数を 書きましょう。□1つ2 [16点]

① $320 + 250$ の 計算

320 は 10 が □に, 250 は 10 が □に

$32 + 25 = \square$ だから, $320 + 250 = \square$

② $500 - 360$ の 計算

500 は 10 が □に, 360 は 10 が □に

$50 - 36 = \square$ だから, $500 - 360 = \square$

4 計算を しましょう。

① $300 + 260$

② $140 + 640$

③ $370 + 230$

④ $390 + 140$

⑤ $630 - 200$

⑥ $490 - 240$

⑦ $600 - 150$

⑧ $610 - 270$

5 えりかさんは 455円 もって いました。けしゴムを 買った
ら、のこりが 400円に なりました。けしゴムは いくらでしたか。

しき 3, 答え 3 [6点]

(しき)

答え

6 ビーズが 900こ あります。この ビーズを、はじめに 400こ、
つぎに 200こ つかいました。ビーズは、はじめの ときより 何こ
へりましたか。

しき 4, 答え 4 [8点]

(しき)

答え

7 110本の 花を、子どもたちに 1本ずつ くばります。男の子
40人に くばった あと、女の子に くばったら、20本 あまりまし
た。女の子は 何人 いましたか。

しき 5, 答え 5 [10点]

(しき)

答え

1 □に あてはまる $>$, $<$, $=$ の 記ごうを 書きましよう。

1 つ 3 [9点]

① $900 + 41$ □ $200 + 700$

② $130 - 60$ □ $872 - 800$

③ $240 + 360$ □ $1000 - 400$

2 □に あてはまる 数を 書きましよう。

1 つ 4 [32点]

① $230 - 200 +$ □ $= 110$

② $400 +$ □ $+ 500 = 908$

③ $80 + 40 -$ □ $= 50$

④ □ $- 80 + 50 = 130$

⑤ $500 + 100 +$ □ $= 1000$

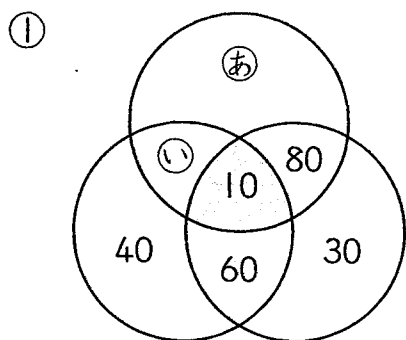
⑥ □ $- 300 - 400 = 200$

⑦ $260 + 310 -$ □ $= 70$

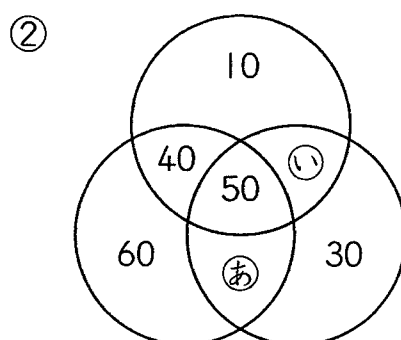
⑧ $700 - 230 +$ □ $= 590$

3 まる 丸の 中の 4つの 数を たした とき、どの 丸も おな じ 数に なるように します。①、②に あてはまる 数を 答えましよう。

1 つ 4 [16点]



① () ② ()



① () ② ()

- 4 ひろとさんは 500円, お兄^{にい}さんは 800円 もって いました。
 ひろとさんは お母^{かあ}さんから 200円 もらい, お兄さんは 300円
 つかいました。そのあと, ひろとさんと お兄さんは 同じ おかしを
 買^かいました。今^{いま}, 2人が もって いる お金は, どちらが いくら
 多^{おお}いですか。

しき 5, 答え 4 [9点]

(しき)

答え

- 5 青と 赤の テープが あります。青い テープは 赤い テープ
 より 90cm 長^{なが}いです。青い テープを 1回^{かい}めに 60cm 切り
 とり, 2回^{なん}めに 何cmか 切りとったので, のこりが 20cmで, 赤い
 テープより 20cm みじかく なりました。2回めに 切りとった
 長さは 何cmですか。

しき 5, 答え 5 [10点]

(しき)

答え

- 6 かずやさんたち 3人は じゃんけんゲームを しました。はじめ
 に それぞれ 500点^{てん} もって いて, 1人だけ かった ときは 300点,
 2人が かった ときは 200点
 もらえ, まけると 100点 へり
 ます。じゃんけんを 3回 して,
 右のように なった とき, それ
 ぞれ 何点に なりますか。

	1回め	2回め	3回め
かずや	パー	グー	チョキ
まい	チョキ	グー	パー
よしき	パー	チョキ	チョキ

しき 4, 答え 4 [24点]

かずや (しき)

答え

まい (しき)

答え

よしき (しき)

答え

1000までの 数

スタンダード

p.24_25

- ① 213 ② 340
- ① 567 ② 904 ③ 853
- ④ 628 ⑤ 705
- ① 480 ② 60
- ① 210 ① 450 ⑦ 790
- ① 701 ② 310
- ③ 800 ④ 990
- ① 500 ① 504
- ② 670 ① 700
- ① > ② < ③ <
- ④ < ⑤ < ⑥ >

解き方

- ① 何百と何十何というとりえ方で数を読み、数字で表します。
- ① 200と13で、213
- ② 300と40で、340
- ② まちがいが多いようであれば、右のような簡単な位取り表を作り、それに当てはめて数字を書かせるとよいです。
- | | | |
|---|---|---|
| 百 | 十 | 一 |
| 5 | 6 | 7 |
- 五百六十七
- ③ わからなければ、10円玉をもとにして考えさせるとよいです。
- ④ 数の線(数直線)では、まず1目盛りがいくつを表しているかを考えるようにします。問題の数の線は、100を10等分してあるので、1目盛りは10です。
- ⑤ とまどっていたり、まちがいが多いようであれば、小さい数に分解して考えさせてみましょう。
- ② 309→300と9→9より1大きい数は、10→300と10で、310
- ② ① 1目盛りは5になっていることに気をつけさせましょう。
- ⑦ 不等号(用語は3年生で習います)は、大きいほうに開いて書くことに注意させてください。

ハイレベル

p.26_27

- ① 215 ② 410
- ① 50 ② 6
- ③ 0, 8 ④ 820
- ① 400, 300 ② 437, 937
- ③ 754, 804
- ① 700 ② 200 ③ 490
- ④ 1000 ⑤ 66
- ① > ② < ③ < ④ >
- 370こ
- 8はこ できて、15こ あまる。

解き方

- ① 200と15で、215です。
- ② 10本の束は11束あるので110で、100本の束が4束と、10本の束が1束で、410になります。
- ② わからなければ、次のようにいいかえて考えさせてみましょう。
- ① 356は、300と□と6を合わせた数です。
- ④ 10を82個集めた数は□です。
- ③ このような数列の問題では、まず、いくつつ大きく(小さく)なっているのかを考えさせましょう。①は20ずつ小さく、②は100ずつ大きく、③は10ずつ大きくなっています。
- ①、② 数の線を使って考えさせてもよいでしょう。
- ③～⑤ 順に数を求めていきます。
- ⑤ ■に、もう一方の数の、■と同じ位の数字を当てはめて考えるとわかりやすいです。
- ① 十の位の数字は、左の数のほうが大きいので、■がどんな数字でも、左の数のほうが大きいといえます。
- ② ■の数字がいちばん大きい9でも、右の数のほうが大きいと考えられます。
- ③ ■の数字がいちばん小さい0でも、右の数のほうが大きいと考えられます。
- ⑥ 10を37個集めた数になります。
- ⑦ 815を800と15に分けて考えます。800は100が8個なので、8箱できて、残りの15個があまりです。

何十、何百の 計算

スタンダード

p.28_29

- ① 534 ② 921 ③ 760 ④ 320
 ⑤ 481 ⑥ 806 ⑦ 200 ⑧ 600
 ⑨ 90 ⑩ 3
- ① 120 ② 130 ③ 150 ④ 110
 ⑤ 170 ⑥ 140 ⑦ 40 ⑧ 60
 ⑨ 50 ⑩ 90 ⑪ 70 ⑫ 80
- ① 600 ② 800 ③ 700
 ④ 1000 ⑤ 200 ⑥ 500
 ⑦ 600 ⑧ 400
- ④ $90+20=110$ 110人
 ⑤ $140-50=90$ 90円
 ⑥ ① $300+700=1000$ 1000円
 ② $700-300=400$ 400円

解き方

- ① 3けたの数の構成をもとにした計算です。
 次のように考えて求めます。
 ① 500と30と4で、534
 ⑥ 800と6で、806 860などとまちがえない
 ように気をつけさせましょう。
 ⑦ 280は200と80 80を取ると、残りは200
- ② 「10のまとまりがいくつ」と考えて計算
 します。
 ① 10のまとまりが(9+3)個で、12個。
 10のまとまりが12個で、120
 ⑦ 10のまとまりが(12-8)個で、4個。
 10のまとまりが4個で、40
- ③ 「100のまとまりがいくつ」と考えて計算
 します。
 ④ 100のまとまりが(8+2)個で、10個。
 100のまとまりが10個で、1000
 ⑧ 100のまとまりが(10-6)個で、4個。
 100のまとまりが4個で、400
- ⑤ メモ帳の代金は、全部の代金からおり紙の
 代金をひけば求められます。

ハイレベル

p.30_31

- ① $70+60$ ② $360-60$ ③ $130-80$ ④ $600+200$
 ⑤ $700-400$ ⑥ $837-37$ ⑦ $100+30$ ⑧ $450-400$
- ① 70 ② 600 ③ 300 ④ 200
 ⑤ 758 ⑥ 5 ⑦ 60 ⑧ 50
 ⑨ 300 ⑩ 800
- ① < ② > ③ = ④ >
 ⑤ = ⑥ <
- ④ $826-26=800$ 800円
 ⑤ $150-70=80$ 80回
 ⑥ $70+40=110$ 110cm
 ⑦ $400+300=700$ 700本
 ⑧ $800-600=200$
 絵のぐが 200円 やすい。

解き方

- ① 式の近くにそれぞれの答えを書かせてから、
 同じ答えの式を見つけさせるとよいです。
- ② ①～⑥は数の構成をもとにした計算、⑦、
 ⑧は10を単位として、⑨、⑩は100を単位とし
 て考える計算です。
- ①～⑥ 式の一方の数と答えの数を見比べ、何の
 位の数字が変わっているかを考えて求めさせま
 しょう。
- ⑦～⑩ 10や100を単位として、1けたの計算を
 もとにして考えさせましょう。
- ③ たし算やひき算の答えを式の近くにか
 け、数との大小を比べさせましょう。また、数
 と式の場合も、その大小は、不等号(>、<)や
 等号(=)を使って表せることも、理解させてく
 ださい。
- ④ 「400人に配ったジュースは400本」と、
 人数をジュースの本数に置き換えて考えるこ
 とがポイントになります。
- ⑤ 式を「600-800」とまちがえていないか
 チェックしてください。「いくら安いのか。」とい
 う場合でも、式は、大きい数から小さい数をひ
 くように書くことを、よく理解させましょう。

1000までの 数

ハイレベル

p.108_109

- ① ① 524円 ② 408円
 ② ① 830 ② 456 ③ 640 ④ 880
 ③ ① 394<479<485
 ② 901<909<911<919
 ④ ① 0, 1, 2, 3
 ② 6, 7, 8, 9
 ⑤ ① 795, 715 ② 308, 298
 ③ 587, 602
 ⑥ ① 764 ② 204 ③ 476
 ④ 427 ⑤ 276

解き方

- ① まず、100円玉以外の部分で、100円になる分のお金を線で囲ませるとわかりやすくなります。
 ② 50円玉、10円玉、5円玉で100円が2個できるので、400円と8円で、408円になります。
 ② ① 100が7個で700、10が13個で130なので、700と130で、830です。
 ③ 608より30大きい数は638、638より2大きい数は640と、分けて考えるとよいです。
 ④ 915より30小さい数は885、885より5小さい数は880です。
 ③ 不等号の向きに気をつけさせましょう。
 ①、②とも、左から小さい順に並べて書くことになります。
 ④ ① □が4のとき、544のほうが小さいので、□に当てはまる数字は、4より小さい数字とわかります。
 ② □が6のとき、694のほうが小さいので、6は当てはまり、□に当てはまる数字は、6以上とわかります。
 ⑤ ①は20ずつ小さく、②は10ずつ小さく、③は15ずつ大きくなっています。わかっている数から、この変化の仕方をまず読み取ります。
 ⑥ ② 百の位に0は置けない(3けたの数にならない)ことに気をつけさせましょう。

トップレベル

p.110_111

- ① ① 1 ② 29 ③ 46 ④ 37
 ② ① 293<352<358<371<458
 ② 732>730>723>713>703
 ③ ① 910, 898 ② 709, 720
 ③ 397, 647
 ④ ① 304 ② 985 ③ 895 ④ 405
 ⑤ 897 ⑥ 498 ⑦ 9こ
 ⑤ 325円
 ⑥ 5こ

解き方

- ① わかっている数と全部の数のちがいを考えて求めます。
 ① 10が15個で150、150と8で158。258と158のちがいは100なので、100は10個とわかります。
 ② 100が5個と1が4個で504。794と504のちがいは290なので、10は29個とわかります。
 ③ 473と13のちがいは460なので、10は46個とわかります。
 ④ 10が51個で510。547と510のちがいは37なので、1は37個とわかります。
 ② 不等号の向きに気をつけさせましょう。①は左から小さい順に、②は左から大きい順に並べて書くことになります。
 ③ まず、数の変化の仕方を調べさせましょう。①は3ずつ小さく、②は11ずつ大きく、③は50ずつ大きくなっています。
 ① 901より3小さい数は、3を1と2に分けて、901より1小さい数は900、900より2小さい数は898と求めさせるとよいです。
 ② 698より11大きい数は、11を10と1に分けて、698より10大きい数は708、708より1大きい数は709と求めさせましょう。
 ④ ① 百の位に0は置けないので、次に小さい3を置き、後は小さい順に並べれば、いちばん小さい数になります。
 ② いちばん大きい数は、百の位から大きい順に並べて987です。2番目に大きい数は、一の位

の7を、次に大きい数の5に変えればよいと考えます。

③ 百の位が8の数の中でいちばん大きい数は、一の位に8は使えないので、897です。次に大きい数は、一の位の数を、次に大きい5に変えて、895となります。

⑥ 500より大きくて500にいちばん近い数は、503で、500より小さくて500にいちばん近い数は498です。503と498では、498のほうが500に近いので、答えは498になります。

⑦ 次の9個の数が作れます。

853, 854, 857, 859, 870, 873, 874, 875, 879

⑤ 10円玉の数は、 $36 - 7 = 29$ で、29個です。10円玉が29個で290円、5円玉が7個で35円なので、290円と35円で、325円と求められます。

⑥ 1円玉30個で30円、10円玉22個で220円、100円玉5個で500円なので、30円と220円と500円を合わせて、750円になります。あと250円分を50円玉で用意すればよいので、50円玉は5個とわかります。

読者の声から

① 数を数字で書くこと 数を数字で書く場合、804や840など、0が含まれる数(空位のある数)でのまちがいが多くなります。声に出して数を言ったときは、読まない位、具体物などのときは、まとまりが1個もない位には0を書くことをよく理解させてください。

② 数の多様な見方 例えば、790という数は、次のようにいろいろな見方ができます。

- ㊦ 100を7個と10を9個合わせた数
- ㊧ 10を79個集めた数
- ㊨ 800より10小さい数

1つの数でもいろいろな見方で捉えられ、場面によって使い分けできる力が必要です。

何十、何百の 計算

ハイレベル

p.112_113

① ① 740 ② 120 ③ 300 ④ 700

⑤ 60 ⑥ 140 ⑦ 400 ⑧ 800

② ① 500 ② 608 ③ 70 ④ 200

③ ① (順に)32, 25, 57, 570

② (順に)50, 36, 14, 140

④ ① 560 ② 780 ③ 600 ④ 530

⑤ 430 ⑥ 250 ⑦ 450 ⑧ 340

⑤ $455 - 400 = 55$ 55円

⑥ $400 + 200 = 600$ 600こ

⑦ $110 - 20 = 90$, $90 - 40 = 50$ 50人

解き方

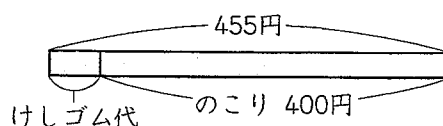
① 何十の計算は10を単位にして、何百の計算は100を単位にして計算します。

② 左側の計算の答えを求め、式の近くに書かせてから、□に当てはまる数を考えさせるようにしましょう。

③ 何百何十どうしの計算は、10のまとまりが何個かを考えれば、既習の2けたの数のたし算やひき算をもとにして計算できることに気づかせてください。2けたの数の計算は、筆算でさせましょう。

④ ③と同じように、10を単位として計算させましょう。

⑤ 図に表すと次のようになります。



消しゴムの代金は、455円から残りの400円をひけば求められることがわかります。

⑥ 何個減ったかを求めるので、減った数を合わせればよいと考えます。初めの数の900個は答えを求めるのに使わなくてもよい条件です。

⑦ 式は、男の子に配った後の残りの本数を先に求めて、「 $110 - 40 = 70$, $70 - 20 = 50$ 」と書いても正解です。また、答えを「50本」とまちがえていないか、よく見てあげてください。

トッフレベル

p.114_115

- 1 ① > ② < ③ =
- 2 ① 80 ② 8 ③ 70 ④ 160
⑤ 400 ⑥ 900 ⑦ 500 ⑧ 120
- 3 ① あ 20 い 70
② あ 20 い 70
- 4 $500+200=700$, $800-300=500$
 $700-500=200$
ひろとさんが 200円 多い。
- 5 $20+20=40$, $40+90=130$,
 $130-60-20=50$ 50cm
- 6 かずや $500-100+200+200=800$ 800点
まい $500+300+200-100=900$ 900点
よしき $500-100-100+200=500$ 500点

解き方

1 それぞれを計算してから、大小を比べます。

- ① $900+41 \square 200+700 \rightarrow 941 \square 900$
② $130-60 \square 872-800 \rightarrow 70 \square 72$
③ $240+360 \square 1000-400 \rightarrow 600 \square 600$

また、数と数、数と式だけでなく、式と式の大小も、等号や不等号を使って表せることも理解させましょう。

2 求められるところをまず求めてから、 $\square$ に当てはまる数を考えさせましょう。

- ① $\frac{230-200}{30} + \square = 110 \rightarrow 30 + \square = 110$
② $400 + \square + 500 = 908 \rightarrow 900 + \square = 908$
④ $\square - 80 + 50 = 130 \rightarrow \square - 30 = 130$
→ 80をひいて50をたすということは、
 $80-50=30$ で、30をひくことと同じです。

または、 $\square - 80$ をひとまとまりと見て、
 $\square - 80 + 50 = 130 \rightarrow \square - 80 = 130 - 50$
→ $\square - 80 = 80$ と考えてもよいです。

- ⑥ $\square - 300 - 400 = 200 \rightarrow \square - 700 = 200$
→ 700をひくことと同じです。

3 ① 4つの数の合計は、 $10+60+30+80=180$ です。①は、 $180-40-60-10=70$ 、②は、 $180-70-10-80=20$ と求められます。

② 右の図で、

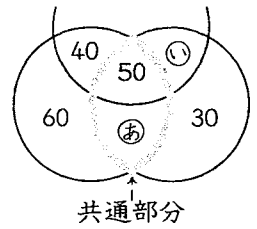
$$40+60+\text{あ}+50$$

$$=\text{い}+30+\text{あ}+50$$

ですが、 $\text{あ}+50$ は共通な

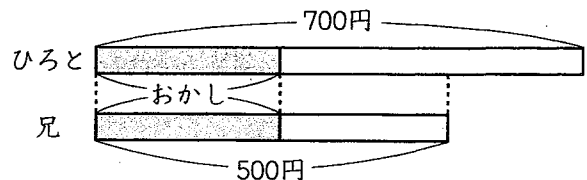
部分なので、 $40+60=\text{い}$

とわかります。100= $\text{い}+30$ で、 い は70と求められます。



4つの数の合計は、 $10+40+50+70=170$ と求められ、 あ は、 $170-40-60-50=20$ と求められます。

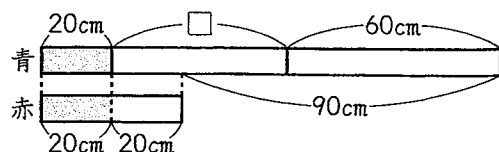
4 おかしを買う前のひろとさんの持っているお金は、 $500+200=700$ で、700円で、お兄さんは、 $800-300=500$ で、500円です。2人が同じ金額を使っても、2人の金額の差は、下の図のように、おかしを買う前と変わりません。



したがって、2人の持っている金額のちがいは、 $700-500=200$ で、200円となります。

5 赤いテープの長さは、20cmより20cm長いので、 $20+20=40$ で、40cmです。青いテープの初めの長さは、 $40+90=130$ で、130cmです。したがって、2回めに切った長さは、 $130-60-20=50$ で、50cmと求められます。

また、図に表すと下のようになります。



左側の20cmは共通なので省き、右側だけで考えて求めると、 $20+90=110$ 、 $110-60=50$ で、50cmと求めることもできます。

6 まず、勝ったのか負けたのか、勝ったときは、1人だけ勝ったのか、2人で勝ったのかを考えて、 -100 、 $+300$ 、 $+200$ のように、表に書き込ませるとよいです。

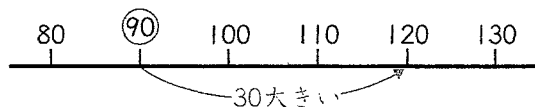
かずやさんは、1回めは負けて、2回めと3回めは2人で勝ったので、 $500-100+200+200=800$ で、800点となります。

まいさん、よしきさんも、同じように考えて求められます。



①何十、何百の計算のねらい 形式的に計算できることも大切ですが、ここでは、3けたの数の構成や、数の相対的な大きさなど、数に対する理解を深めるという大きなねらいもあります。

例えば、 $90+30$ では、10を単位として、 $9+3$ をもとにして計算します。これは、数の相対的な大きさを考えた計算です。もっと数を意識させるには、「90より30大きい数」として、数直線を使って求めさせる方法もあります。



ただ計算だけに留めず、数の理解を深めるというねらいを念頭に置いて指導してください。

②計算の補助にお金を活用する 数を意識させ、計算をわかりやすくする教材として、お金を活用するとよいです。 $90+30$ の計算も、10円玉という単位を使えば、 $9+3$ で12、10円玉が12個で120円と、10を単位とした計算のしくみが容易に理解できます。

たし算の ひっ算(2)

ハイレベル

p.116_117

① ① 167 ② 153 ③ 160 ④ 192

② ① $\begin{array}{r} 37 \\ +94 \\ \hline 131 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 76 \\ +68 \\ \hline 144 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 93 \\ +7 \\ \hline 100 \end{array}$

③ ① 0, 1, 2, 3, 4

② 5, 6, 7, 8, 9

④ 次の中の1つが書いてあれば正解です。

$\begin{array}{r} 78 \\ +45 \\ \hline 123 \end{array}$ $\begin{array}{r} 48 \\ +75 \\ \hline 123 \end{array}$ $\begin{array}{r} 78 \\ +54 \\ \hline 132 \end{array}$ $\begin{array}{r} 58 \\ +74 \\ \hline 132 \end{array}$

⑤ ① $\dots 6$, $\dots 2$ ② $\dots 8$, $\dots 5$

⑥ $86+86=172$ 172こ

⑦ $65-17=48$, $65+48=113$ 113円

⑧ $9+12=21$, $97+21=118$ 118人

解き方

① 左から順に計算してもよいです ② $\begin{array}{r} 1 \\ 74 \\ 23 \\ +56 \\ \hline 153 \end{array}$ が、右のように3段並べて書いて計算させると、一度に計算できます。このとき、④は十の位に2くり上がります。十の位の上に、小さく2と書いて計算させましょう。

③ ① 十の位は、 $3+7=10$ で、答えの上から2けたと同じなので、一の位の計算でくり上がりはないことがわかります。したがって、 $\square$ の数字は、5より小さい数字とわかります。

② 一の位は、 $7+8=15$ で、十の位に1くり上がります。したがって、 $1+4+\square=1\square$ 、 $5+\square=1\square$ より、 $\square$ は5以上とわかります。

⑤ ① 答えの上から2けたは12で、半分にできる数なので、一の位でくり上がりがないことがわかります。同じ数を2つたして4になるのは、 $2+2$ 、12になるのは、 $6+6$ です。

② 17は半分にできない数なので、一の位でくり上がりがあることがわかります。

⑧ 「 $97+21$ 」の式は、「 $21+97$ 」でも正解です。また、「 $9+12+97=118$ 」と、1つの式に表しても正解です。